

スポーツ教養プログラム【ユース】活動報告

1 日時

2021年12月11日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

愛知県女性総合センター（ウィルあいち） 大会議室

3 プログラム名

アンチ・ドーピング

4 講師（敬称略）

（一社）愛知県薬剤師会 竹林まゆみ（公認スポーツファーマシスト）

5 活動内容

ドーピングは、フェアプレイの精神に反し、アスリートの健康を害することや、支えてくれた多くの人々を裏切る行為でもあります。ドーピング禁止薬は、総合かぜ薬や栄養ドリンク等の医薬品にも含まれており、サプリメントにも禁止物質が含まれている可能性があるため、普段の生活から十分注意しないと、今までの努力が水の泡になってしまうことを学びました。

ドーピング検査の検体（血液や尿）採取は、競技会場だけでなく、検査員がトレーニング先や宿泊先等に昼夜を問わず訪れて行われており、不正防止のため、尿検体の採取は検査員の見ている前で行うことなど、DVD映像による説明もあり、ビックリした表情を見せるアカデミー生もいました。

トップアスリートを目指すアカデミー生や保護者にとっても、ドーピングは「知らなかった」では済まされない重要な問題であり、ドーピングに対する正しい理解と適切な行動は、アスリートの責務であることを学びました。

また、女性アスリートの三主徴と呼ばれる「エネルギー不足」「骨粗しょう症」「無月経」に関する説明と対処方法も教えていただき、アカデミー生だけでなく、保護者にとっても大変参考になりました。



講師の竹林先生



DVDによる尿検体の採取方法説明



講義を真剣に聞く様子



講義を受ける様子